

事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	那賀・海部川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	徳島県	対象市町村	阿南市ほか4町
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は徳島県の南部に位置し、北は^{つるぎさん}剣山系の諸連峰、西は^{いしづちさん}石鎚山、^{なかがしやま}中東山、^{あかぎおやま}赤城尾山等が南北に連なり挟まれた5市町からなっている。</p> <p>本地区の森林面積は128千ha（森林率86%）、対象民有林は123千ha（森林全体の96%）うち人工林は86千haとなっている。人工林の齡級構成は、間伐等が必要となる5～12齡級のスギ・ヒノキ林が62%を占めており、水源涵養^{かん}や山地保全等といった森林の有する公益的機能を持続的に発揮する健全な森林を育成するためには、適切な森林整備が必要となっている。</p> <p>しかしながら、木材価格の低迷による所有者の経営意欲の減退や林業従事者の高齢化に伴う人手不足等の影響もあり、未整備の森林も多く残されており、このままの状態では、森林の有する公益的機能の発揮に支障を及ぼすことが懸念されている。</p> <p>このため本県では、素材生産の低コスト化に取り組むとともに、多様化する木材ニーズへの対応を図る「スマート林業プロジェクト」を令和5年度まで実施し、川上から川下までが一体的となった木材の生産・流通・加工体制の構築とそれらを担う新たな人材の確保・育成に取り組んできたところであり、令和6年度以降においても引き続き、林業の諸課題の解決に取り組むこととしている。</p> <p>本事業は、水源涵養や山地保全、木材の安定供給等といった森林の有する多面的機能の維持増進を図るために必要な造林や間伐等の森林整備と併せ、効率的な森林整備の推進に不可欠な路網整備を一体的に実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2404ha</p> <p>人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：5,380m</p> <p>林道開設、改良</p> <p>総事業費：3,683,709千円（税抜き3,348,826千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.47</p> <p>（総便益（B）=22,004,217千円、総費用（C）=4,919,869千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 水源涵養や山地保全、木材の安定供給等といった森林の有する多面的機能の発揮が求められている地域であり、造林や間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 路網整備で一体的に実施することで、効率的な森林整備を推進することとしており、費用対効果の分析結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：徳島県

地域(地区)名：那賀・海部川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,040,390	
	流域貯水便益	1,235,177	
	水質浄化便益	4,712,641	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,853,433	
環境保全便益	炭素固定便益	1,928,534	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	11,158	
	木材利用増進便益	63,441	
	木材生産確保・増進便益	3,017,680	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	941	
	森林管理等経費縮減便益	1,247	
	森林整備促進便益	3,062,096	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	77,479	
総 便 益 (B)		22,004,217	
総 費 用 (C)		4,919,869	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,004,217}{4,919,869} = 4.47$		

森林環境保全整備事業 那賀・海部川地域（徳島県）

